

コロッケの なかの いのち

①

きょうの きゅうしよくの メニューは
ぼくの だいすきな コロッケ。おにくが
いっぱい はいつていて すっごく
おいしいんだから。

——ぬきながら——

ぼく 「いただきます」

②

テツちゃんが ぼくに きいた。

テツちゃん「ユウちゃん、コロッケの なかの にく

どうやって つくるか しってる？」

ぼく 「知らないよ。おしえて」

テツちゃん「いきている うしを ころすんだって」

ぼく 「えーっ！ かわいそう」

ぬく

③

ママと スーパーマーケットへ いった。
いろいろな どうぶつの おにくが
ならんでいる。もし ぼくたちが おにくを
たべないなら おにくに されないのに。
でも、おにくが なかったら ハムも
ウインナーも たべられなくなっちゃうな。

ぬく

④

うちに かえって コロと あそんだ。

コロったら かわいがって もらい

とつても うれしそう。

でも うしは かわいがって もらつても

おにくに されるから かわいそうだなあ。

ぬく

⑤

ぼんぼんは だいすきな やまにく。

パパ 「ユウ きょうは どうして やさいばかり
たべてるんだい？」

パパが きいた。

ぼく 「だって おにくに なった どうぶつが
かわいそうだもん」

パパ 「かわいそうだけど にんげんは
いきものから いのちを もらわないと
いきて いけないんだ」

ママ 「そうよ。ユウは おにくや おやさいを
いただいて おおきく なれたのよ」

ぼく 「うん……」

——ぬきながら——

すると、パパが いった。

パパ 「ユウ、あした、おにくにする ところを

みにいこう」

ぼく 「えーっ！」

パパ 「ユウがたべてる にくが どのように

して にくになるか 知る ことは

とても たいせつだよ」

ぬく

⑥

⑦

パパと けんがくに きた。

「パパ うしから ちが でているよ」

パパ 「きを うしなっている。ときに ちを

ぬくんだ。こうすると にくが おいしいし

うしは くるしまないで しねるんだよ」

ぼく 「うしは いたくないんだね」

——ぬきながら——

ちがう ほうを みた。

⑧

「うしが きかいで かわを はがされ
おにくと ほねに なってるよ」

パ
パ 「かわは ランドセルや くつに なり、
ほねも すてないで つかうんだよ。
たいせつな いのちだから むだに
しないようにね」

ぼく 「ふうん」

——ぬきながら——

パ
パ 「ユウ ついてきてごらん」

⑨

そとへ でて むつかしい じが
ほつてある いしの まえに きた。

パ
パ 「にくに する ひとたちが ここに
あつまり 『どうぶつたち にんげんの
ために にくに なってくれて

ありがとうね』って おいのりするんだよ」

ぼく 「ぼくも おいのりする」

ぬ〜

⑩

ぼくは コロッケを おもいうかべた。

コロッケの なかには いのちが

はいつている。

その いのちを もらって ぼくは
いきている。

これからは ありがとうの きもちを
こめて おにくを たべよ。

そうだ。テツちゃんにも この こと
おしえてあげなくちゃ。

(おわり)